

AIユーミン「Yumi Aral」、初挑戦の声優でAI役に！

いま読みたい”現代の予言書”「火の鳥 未来編」原作の公演で、

人類を破滅に導くAI・ハレルヤ／ダニューバー役を熱演！

MoN Takanawa開館記念特別公演「マンガログ：火の鳥」4月22日開幕

AIが目まぐるしい発展を遂げ、自らが生み出した技術との向き合い方を模索する今、手塚治虫が50年以上前に描いた「火の鳥 未来編」が、まさに“現代の予言書”として再び注目を浴びています。今回、この不朽の名作を題材として上演される「MANGALOGUE（マンガログ）：火の鳥」において、物語の鍵を握るAI役を、松任谷由実のAI音声「Yumi Aral」が務めることとなりました。

「MANGALOGUE（マンガログ）：火の鳥」は、2026年3月28日（土）にTAKANAWA GATEWAY CITYに開館した、文化の実験的ミュージアム「MoN Takanawa: The Museum of Narratives（モンタカナワ：ザミュージアムオブナラティブズ、以下MoN Takanawa）」内、シアター空間「Box1000」のこけら落とし公演です。新たなミュージアムの幕開けに、時代を超えて普遍的な問いを与える本作が、かつてないシアター体験として蘇ります。



■ 「MANGALOGUE (マンガローグ)」とは

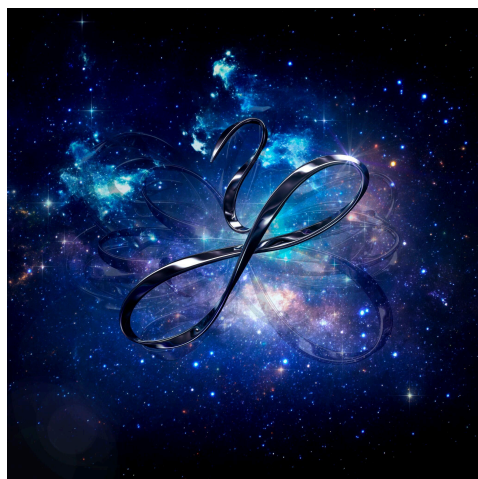
「マンガローグ」は、観客全員で一冊の物語に没入する新しいマンガ体験です。マンガそのものを映し出す巨大LED、豪華キャストによる声、舞台をナビゲートする「ロボットアーム」、そして観客と一緒に物語を旅する「MANGALOGUER (マンガローガー)」たちとともに、マンガの世界を体感します。



声の出演として、舞台をナビゲートするロボットアームの鉄腕アーム役に山寺宏一、火の鳥役に夏木マリ、マサト役に梶裕貴、ロック役に本郷奏多、猿田博士役に古田新太、タマミ役にあのが出演。そして今回、世界を戦争に導くAI役 ハレルヤ／ダニューバー役にYumi Aralが決定し、時代を象徴するキャストが揃いました。

観客と一緒に物語を旅する「MANGALOGUER (マンガローガー)」役として、ステージ出演には又吉直樹、寺脇康文、花總まり、古川雄大、小森隼 (GENERATIONS)、新内真衣、千葉一磨が出演します。

■ AI音声「Yumi Aral」が描く、西暦3404年の人類と地球の姿



今回、出演となるAI音声「Yumi Aral」は、松任谷由実のデビューから現在までのヴォーカルデータを、AI音声合成ソフトウェア”Synthesizer V”にラーニングさせ、新たに”Yumi Aral”として歌唱を可能にしたプロジェクト名です。最新アルバム”Wormhole / Yumi Aral”で初めて使用され大変話題になりました。アルバムでは生の松任谷由実の歌声とのコラージュですが、今回は”Synthesizer V”のみを使用した声優としての出演で、史上初の試みとなります。

「火の鳥 未来編」で描かれる西暦3404年の世界が、2026年に生きる私たちの物語と共鳴する今、「Yumi Aral」が物語に参加することは、私たちがこの時代をどう生きていくのかに対して、普遍的なメッセージを問いかけます。

なお、「Yumi Aral」が歌手としてではなく、「声優」として作品に登場するのは、今回が初の試みとなります。時空を超えた伝説の歌声が、今度は”語り部”として、手塚治虫が描いた壮大な物語と融合し、これまでにないマンガ体験を創出します。

■ 松任谷由実プロフィール／「Yumi Aral」について

プロフィール

1972年、多摩美術大学在学中に荒井由実としてデビュー。ユーミンの愛称で親しまれ、「ひこうき雲」「やさしさに包まれたなら」「守ってあげたい」「真夏の夜の夢」「Hello, my friend」「春よ、来い」など、数々の名曲を生み出す。累計セールスはシングル・アルバムをあわせて4,000万枚を超え（オリコン調べ）、名実共に日本を代表する女性アーティストとして活躍を続けている。現在、最新アルバム『Wormhole / Yumi Aral』を携え、全72公演におよぶ全国ホールツアーを開催中。紫綬褒章（2013）、菊池寛賞受賞（2018）、文化功労者選出（2022）、日本放送協会放送文化賞（2025）

「Yumi Aral」について

松任谷由実の歴代の歌声を、最新のAI技術（Synthesizer V）によって再現・再構築したプロジェクト。50年以上にわたる膨大なボーカルトラックを学習データとし、独自の「Chrono Recording System」を用いることで、荒井由実時代のナイーブな質感と現代の表現力を融合させた“第三のユーミン”を創出した。2025年11月、アルバム『Wormhole / Yumi Aral』で初導入。「AIと人間の共生」をテーマに、時空を超えた新たな芸術表現を追求している。本作『MANGALOGUE：火の鳥』にて、初の声優（ボイスキャスト）出演を果たす。

■ 上演スケジュール

料金：★=4,500円（税込）●=5,500円（税込）

4月	22日(水)	23日(木)	24日(金)	25日(土)	26日(日)	27日(月)	28日(火)	29日(水・祝)	30日(木)
10:00			★ 新内眞衣	★ 小森隼 (GENERATIONS)	★ 千葉一磨	休演日	★ 小森隼 (GENERATIONS)	★ 小森隼 (GENERATIONS)	★ 小森隼 (GENERATIONS)
13:00	● 又吉直樹	● 又吉直樹	★ 新内眞衣	★ 花總まり	★ 花總まり		★ 花總まり	★ 花總まり	★ 花總まり
16:00		● 又吉直樹	★ 新内眞衣	★ 花總まり	★ 花總まり		★ 花總まり	★ 花總まり	★ 花總まり
19:00		● 又吉直樹							

5月	1日(金)	2日(土)	3日(日・祝)	4日(月・祝)	5日(火・祝)	6日(水・祝)	7日(木)	8日(金)
10:00	● 新内眞衣	● 新内眞衣	● 千葉一磨	● 新内眞衣	● 千葉一磨	● 千葉一磨	休演日	● 新内眞衣
13:00	● 新内眞衣	● 新内眞衣	● 千葉一磨	● 新内眞衣	● 千葉一磨	● 千葉一磨		● 小森隼 (GENERATIONS)
16:00	● 小森隼 (GENERATIONS)	● 小森隼 (GENERATIONS)	● 千葉一磨	● 新内眞衣	● 千葉一磨	● 千葉一磨		● 小森隼 (GENERATIONS)
19:00	● 小森隼 (GENERATIONS)							

5月	9日(土)	10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)
10:00	● 小森隼 (GENERATIONS)	● 古川雄大	● 古川雄大	● 古川雄大	● 小森隼 (GENERATIONS)	● 新内眞衣	● 新内眞衣	● 新内眞衣
13:00	● 小森隼 (GENERATIONS)	● 古川雄大	● 古川雄大	● 古川雄大	貸切 小森隼 (GENERATIONS)	● 新内眞衣	● 寺脇康文	● 寺脇康文
16:00	● 新内眞衣	● 古川雄大	● 古川雄大	● 古川雄大	● 小森隼 (GENERATIONS)	● 小森隼 (GENERATIONS)	● 寺脇康文	● 寺脇康文
19:00			● 古川雄大	貸切 古川雄大	● 小森隼 (GENERATIONS)	● 小森隼 (GENERATIONS)		● 寺脇康文

■ プログラム概要／チケット情報

MANGALOGUE（マンガログ）：火の鳥

50年前マンガの神様・手塚治虫が、予言し創造した世界「火の鳥 未来編」が2026年、最先端のライブ空間MoN Takanawaで、新たに着彩された原稿、豪華キャストたちとともに、最新のイメージ・物語体験として蘇る。



【日程】 2026年4月22日（水）～5月16日（土）

【会場】 Box1000

【主催】 MoN Takanawa: The Museum of Narratives、TBS

【企画制作】 MoN Takanawa: The Museum of Narratives、TBS、Bascule Inc.

【原作】 手塚治虫「火の鳥 未来編」

【制作協力】 手塚プロダクション

※手塚治虫／手塚プロダクションの「塚」について、正しい表記は旧字

声のキャスト



<VOICE CAST>

鉄腕アーム 山寺宏一

火の鳥 夏木マリ

マサト 梶裕貴

ロック 本郷奏多

猿田博士 古田新太

タマミ あの

ハレルヤ / ダニューバー Yumi Aral

<STAGE CAST>

MANGALOGUER (マンガローガー)

又吉直樹

寺脇康文

花總まり

古川雄大

小森隼 (GENERATIONS)

新内真衣 (元乃木坂46)

千葉一磨 (舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』セドリック・ディゴリー役)

※出演スケジュールは公式ウェブサイトおよび特設サイトにてご確認ください。

ステージキャスト

マンガローガー役



「火の鳥 未来編」について



「火の鳥 未来編」は、全12篇から構成される『火の鳥』シリーズの一編。シリーズの中でも最も先の時代となる、西暦3404年以降の世界を舞台としている。本作は1967年に発表され、地球環境の荒廃や人類社会の変質、人工生命の研究などを背景に物語が展開される。

作中では、AIやクローン技術を想起させる要素が描かれており、当時の科学観や未来像が反映されている。過去から未来へと連なる『火の鳥』全体の構成の中で、「未来編」は人類の行き着く先を描くエピソードとして位置づけられており、その影響は世代や国境を越え、現在のマンガ・アニメーション、さらには映像表現全体にも及んでいる。

(画像提供：朝日新聞出版)

<通常販売>

- TBSチケット
https://tickets.tbs.co.jp/mangalogue_hinotori/
- チケットぴあ
<https://w.pia.jp/t/mangalogue-hinotori/>
- ローソンチケット
https://l-tike.com/mangalogue_hinotori/
- MoN Takanawa公式プレイガイド (Fever)
<https://feverup.com/m/586037>
- MoN Takanawaチケット
<https://ticket.montanakawa.jp/project/wjwhlbbLe5?lang=ja>
- イープラス
https://eplus.jp/mangalogue_hinotori/
- アソビュー！
https://evt.asoview.com/mangalogue_hinotori

<料金>

一般：4,500円・5,500円／U25：4,500円／小学生以下：3,000円

※料金は全て税込価格です。

※開催日程、出演者等によって料金が異なります。

※4歳未満のお子さまはご入場いただけません。

<詳細>

- MoN Takanawa公式ウェブサイト「MANGALOGUE (マンガログ：火の鳥)」
https://montakanawa.jp/programs/mangalogue_hinotori/
- 「MANGALOGUE (マンガログ：火の鳥)」特設サイト
https://montakanawa.jp/special/mangalogue_hinotori/